平等寺だより

仏法を信じ神道を尊ぶ

住職　丸子　孝法

発行
〒633-0001
桜井市三輪38
三輪山平等寺
TEL/FAX
0744-42-6033
http://www.byodoji.com/

「天皇は仏法を信じ神道を尊ぶ」これは日本書紀の用明天皇のみことのりです。仏法を信じるとは仏の教えを信じ実行すること。神道を尊ぶとは神の道を尊び敬いの心を大切に生きることであります。

戦後74年、物のない時代から豊かな時代へと発展してきました。「お米をそまつにすることは、命をそまつにすることだ」と一粒のお米の大切さを教えられ、つぎはぎだらけの服を着ていた小さい頃と今の時代は、驚くばかりの変化です。

今から２５００年の昔、釈尊は常に少欲知足を説法されました。「足ることを知らざる者は富めりといえども貧し、足ることを知る者は貧しといえども富めり」と。

物の豊かさが幸せであると思う今日の私達の心は一面貧しいのではないかと思うことがあります。自らの幸せのみを求めるのではなく、人々の幸せへの心配りをもって生きることが「仏法を信じ神道を尊ぶ」ことに連なることではないでしょうか。

昨年は大変ありがたいことがありました。平等寺には大きな「役の行者」の尊像がおまつりしてあります。廃仏毀釈の折に三輪の村人に守られた尊像です。この度、篤信者・奈良の吉田幸夫さまのご助縁を頂き、中西指定仏像修理所・中西正治先生により立派に修復されました。

今年も山内一同愛山護法の道念をもって仏法興隆、世界平和のために精進してまいる所存です。

年頭にあたり、皆さまのご多幸とご安寧をご祈念申しあげ新年のご挨拶とさせていただきます。

合掌

御授戒に参加して

亀本　秀子

最終日、須弥壇と呼ばれる中央部の壇上に登壇した後、大禅師様から一人ずつ戒名と血脈を頂くことができました。

立って礼拝、額と手を床につける礼拝を何回も繰り返し、足、ひざ、腰が痛くなり、終わるとふうふうでした。

又食事も私語禁止の修行場でした。黙って、もくもくと食べる諸作法を経て、最後にお茶でお椀を洗い箸も洗う。食べる時間は短く正味10分ぐらいでしょうか。マイペースな私にはついて行くのがやっとで、最後は飲み込むようにしていただいておりました。

長いようで短い一週間でした。非日常的で、貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。

これからの私は、仏の御子としての自分と向き合い、生活を正しく、謙虚に、心穏やかに暮らす事ができると信じ、戒と共に歩んで行きたいものです。

ニューヨーク旅行

服部　宣彦

孫の夏休みにニューヨークへ行きました。ツアーでなく個人で。英語もろくに話せない私と先輩、中一の孫の三人で。

ところで、平等寺との御縁にふれますと、平成8年父が誤嚥でＩＣＵに運ばれ脳が黒くなり助からなく、母とお寺さんを探していました。年末で困って曹洞宗宗務庁に相談した処、数ヶ寺を教えられ、その最初が平等寺でした。そのお寺は本堂や佇まいが整っていて大変好印象で、住職さんがお出になり快諾して頂き即決致しました。年末30日に亡くなり、年末年始の忙しい時に大変なお世話になってしまいました。

父は三重県木曾岬の出で、本家筋から二人、村の尼寺に志願された方が居られます。

私も今、毎朝真似ごとで坐っており、副住職さんの「陰ながら応援しています」の一言が大きな励みになって居ります。

さて、ニューヨーク行きの話ですが、孫の入国は親の同伴がない場合、連れ去りや人身売買を防ぐためとテロ以降入国審査が厳しく、領事館も入国審査官の裁量によると確答無く、結局書類を揃え戸籍謄本をスマートフォンで英訳し、質疑メモも準備しました。

入国は順調に運び、審査官はウインクをしてＯＫとなり、やれやれの入国でした。

ニューヨークは、地階にＨＩＳの営業所のあるヒルトンミッドタウンホテルです。成田から13時間、映画と居眠りで退屈せずＪＦケネディー空港に着きました。ホテル迄タクシーでヤンキースタジアムを通る際、運転手が「マサヒロタナカはグッドだ」と気さくに話しかけてくれやりとりしましたが緊張していました。

オプショナルツアーは市内見物で、スパイダーマンを撮影したＮＹ最古のビルや９・11グランドゼロ(四方に犠牲者の名前が掘ってあり滝になっている)、自由の女神は島に上陸し間近に見ました。

その他有名な処が目白おしで、メトロポリタン美術館ではインディアンの奇想天外な彫刻や芸術。ブロードウェイは各劇場前に行列。市街は、世界中の人種が歩いてる歩いてる、店頭では２ｍを超す黒人がパリッとしたスーツ姿で立っていて、いたるところに大男がいて私も慣れてしまいました。コンビニやスーパー等店員は殆んどが黒人女性でテキパキして好印象でした。

セントラルパークは巨大な岩がいたる所にありました。少年の頃から憧れのエンパイアステートビルは登るのに長蛇でしたが入場券をホテルで購入していたので優先されました。このビルは１９３９年建設の鉄骨構造

で高さ381ｍのビル内部は全て大理石、86階の展望台でも全く揺れが無く、外壁も剥がれず当初のままで驚きの連続で、今も人気の観光スポットです。

ＮＹのマンハッタン島は岩盤でビルが揺れず、公園には岩がありました。

ウエストサイドストーリー、五番街、国連ビル、ジャズ、ステーキ、ティファニーの隣トランプタワー内部は金ぴかで間口は狭かった。

孫がマクドに行きたいと言うので先輩が「マクドナルド」と道を聞いたら通じず、在米の叔母に聞いていた「マック！ドナルド」と言うと通じ、店の内部やハンバーグの味も日本と殆ど同じと言うのが孫の感想です。

ＨＩＳのＮＹ市街地図を見ても孫は一目で分かるようで、小さな字にももたもたする我々より常に先を歩いていました。

ナイアガラ日帰りツアーや大リーグ観戦も含めると滞在６日以上は必要で、英語が出来ればゆっくりと行って見たいと思います。

児童虐待をなくす運動と民族教育について学ぶ

丸子　孝仁

曹洞宗奈良県宗務所が桜井市立図書館にて「こどもの里」のドキュメンタリー映画・「さとにきたらええやん」上映会を開催した。その後、こどもの里へ行き、館長・荘保共子さんから、

「こどもの里では、20％が障害をもっている。そのこども達のために週１回様々な勉強会をする。例えば手話を必要とするこどもがいれば、全員で手話を学ぶ。フィリピン出身のお母さんが多いのでフィリピンへ行って文化を学び、戦争を学ぶために沖縄やアウシュヴィッツ強制収容所跡へも行き、こども達が劇などで報告をする。毎年野宿者が亡くなっているので夜回りをして、食べ物や毛布を配る。貧困で不就学児や戸籍の無いこどもがいて様々な事があるが、そのこども達は問題児ではなく問題を抱えているこどもである。非正規雇用が増えてから貧困が増え、こどもの貧困につながっている。２０１６年度の児童相談所の児童虐待対応件数は12万２，５７８件あった。要対協で毎月会議をして、こどもと家庭への支援を考えている。こどものいのちを真ん中にして、こどもには生きる・守られる・育つ・参加する権利がある」とお話をいただいた。

引き続き、釜ヶ崎地域史研究家・水野阿修羅さんによる現地研修。

日雇い労働者の町として知られる釜ヶ崎のあいりん労働公共職業安定所、大阪社会医療センター等の施設や三角公園、飛田本通商店街を回った。釜ヶ崎では暴動が起きてから監視カメラが150台設置されている。水野さんは最後に、「最近は、外国人バックパッカーのために高額のホテルが建設されてきたので、生きるのがやっとの日雇い労働者やアルコール依存症の人や障害者が住む安い宿泊所がなくなるおそれがある。誰もが生活しやすいこの町を守りたい」と話された。

次に、奈良県民族教育推進協議会代表の邵哲珍さんと縁結びの弥

栄神社で待ち合わせ。もともとは「牛頭大王社」と呼ばれ、渡来人の象徴とされるスサノオを祭る神社だが明治になって「弥栄(やえい)神社」と改名した。次につるのはし跡へ向かった。日本最古の橋として名高い「つるのはし」は36ｍあったそうだが、古代、先進文化を携えて渡来し、古代大阪の開拓に励んだ百済系渡来人の活躍が推察できる。御幸森神社は百済系渡来人伝承の神社であり、古代大阪の開発リーダーと言われる仁徳天皇が渡来人の先進技術を見にきたという由緒をもっている。コリアタウンには朝鮮人、韓国人、日本人の共生の生活があり、植民地政策と差別政策によって曇らされたことも吹き飛ばす未来への輝きがある。

その後、大阪朝鮮第４初級学校を見学した。初級学校の子ども達は明るく元気いっぱいだった。最後に金哲校長先生から朝鮮学校の

歴史と、差別の中においても朝鮮の文化を大切に継承してきたことをお話しいただいた。朝鮮学校が高校授業料無償化から除外され初級学校の補助金も打ち切られ、奈良県の朝鮮学校も休校となり、こども達が大阪まで通っている。奈良県にはキムチ販売によってそのこども達の交通費を支援している「ハッキョ支援ネットワーク・なら」もある。今回の講義を聞き、こどもを取り巻く環境には深刻な問題があり、常に学び、関わり、積極的に伝えなければならないと考える機会となった。

スイスの禅僧モニカさん

スイスの禅僧モニカさんが、平等寺に来られました。

フランスに禅を伝えた弟子丸泰仙老師の流れの中で長く禅の修行をされた方です。

今や禅はアメリカやヨーロッパのみならずカトリックの神父さんや世界中のトップエリートが禅に親しんでいます。近年、ストレス低減法マインドフルネスとして、坐禅が科学的医学的に心の安らぎに関連することが解明されてきました。

体と心と呼吸を調えて坐ることが「今、ここに」生かされている自己を発見することにつながります。平等寺では48年間、毎週日曜日朝6時半より坐禅会が続いています。

副住職おすすめの一冊
「強さ」とは何か。宗道臣70の言葉

激動の時代を生きた少林寺拳法創始者・宗道臣先生の戦時中、または戦後日本に引き揚げて来たときに眼にした祖国の現状に落胆し、そこから生まれた日本人にもう一度自信と誇りを取り戻させたいという志を現実のものとするための試行錯誤のお話。まだ日本が豊かではなかった子供の頃、酔って暴力を振るう義父から母親を助けたくても助けられず、可愛がっていた妹たちに貧しい思いをさせたくないと思ってもそれも出来ず、悔しくて悔しくてずっとその無念さを抱き続け、生涯を通じて人間の尊厳を語られた熱いメッセージ。

7月第二日曜日「作務の日」今年は7月14日です

年間行事予定

【一月】一～三日　修正会
　十四日十三時初護摩会
【二月】三日　十時　星祭会
　十五日　六時　涅槃会
【三月】二十一日十四時彼岸会
【四月】七日　十時　大護摩会
　花祭り「ちごおねり」募集
【七月】上旬　本山研修会
　十四日　作務の日
　下旬　子供坐禅の集い
【八月】一日　九時半　最勝会
　二十三日十三時　地蔵会
【九月】二十三日十四時彼岸会
【十月】下旬　県梅花大会
【十二月】一～八日　朝六時
　摂心会並びに成道会
　上旬　歳末托鉢行
　二十一日十四時終護摩会
　三十一日　除夜の鐘

月間行事予定

一・十五日六時　祝祷朝課
十八日十四時　梅花講
二十四日十四時　水子供養
二十八日十四時　護摩会
（一・四・十二月は右記参照）
日曜日六時半　坐禅会

みー子が行く⑬

昨年、みー子が2月15日に、フワラは5月17日に亡くなりました。寂しくなりましたが、全ては無常の中で生かされています。だからこそ、いのちを大切にしましょう。履物をそろえましょう。猫も人も一度だけの尊いのちです。

テレホン法話

曹洞宗布教師の「心の法話」が電話で聞けます。
０１２０５０８７４０

ご案内

お寺のホームページがあります。ぜひ、ご覧ください。
http://www.byodoji.com/

三輪山裏

天国や地獄はどこか遠くにあるのではなく、私たち一人一人の心と行いが、今ここに天国や地獄を作り出すのです。

彼岸は私たちの足元にあります。季節柄ご自愛ください。

孝仁合掌